

第32回  
福岡県 **2019**  
美しいまちづくり  
建築賞 作品集

**32nd.**

public competition

fukuoka

prefecture/  
architectural

award for

artistic

urban design

works

works

## ご挨拶

### 福岡県知事 ■ 小川洋

本県では、県民一人一人が「福岡県に生まれて良かった、生活して良かった」と実感できる「県民幸福度日本一」を目指し、さまざまな施策を展開しています。

その施策の柱の一つとして、「環境と調和し、快適に暮らせること」を掲げ、良好な景観の絵画および写真、景観形成に資する建築物の表彰、街並み整備の推進などにより、美しいまちづくりへの県民意識の醸成、良好な居住環境づくりを促進しています。

これらの取り組みの一つである「福岡県美しいまちづくり建築賞」は、国連が定めた国際居住年である昭和62年に「福岡県建築住宅文化賞」として創設し、平成12年の「福岡県美しいまちづくり条例」制定に伴う改編を経て、今回で32回目を迎えます。

本賞では、「個性豊かで、美しく、誇りを持って次の世代に継承することができる景観の形成に資すると認められる建築物」を対象に表彰を行っており、今回もご応募をいただいた多数の作品の中から、選考委員会による厳正な審査を経て、特に優れた6作品を表彰することといたしました。

大賞に選ばれた住宅の部「平和の家」、一般建築の部「福岡県弁護士会館」をはじめ、いずれの作品も建築物としての素晴らしさだけでなく、生活する人々の心を豊かにし、愛され親しまれる景観の形成に資する作品となっています。

これらの受賞作品を通じて、県民の皆さまの良好な景観形成、質の高い生活環境の構築に対する意識が高まることを期待しています。

最後に、選考委員会の各委員をはじめ関係者の皆さまのご協力に感謝申し上げますとともに、受賞者ならびに応募者の皆さまの今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

## 総評

### 選考委員長 ■ 田上健一

優れた建築を表彰することにより、美しいまちづくりの促進を図ることを目的として制定された本賞は、今年で32回目を迎えました。

本賞では、「住宅の部」と「一般建築の部」の各部門で「大賞」および「優秀賞」が授与され、またリフォーム・リノベーション作品を対象として「一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長賞」が授与されます。本年度は「住宅の部」29件、「一般建築の部」34件、計63件の一般公募による応募が寄せられました。選考は10名の選考委員による慎重な審議を経ています。

第1次選考委員会は9月25日に開催され、応募書類をもとに「住宅の部」の候補4作品、「一般建築の部」の候補5作品、「理事長賞」候補3作品を選出しました。また、第2次選考の現地審査は11月15日と11月17日に実施され、建築の内部・外部空間および周辺環境の視察を行うとともに、設計者・施工者・建築主等の関係者から説明を受けました。第2次選考の現地審査終了後に最終選考委員会を開催し、各受賞作品を選出しています。

「住宅の部」では、戸建住宅2作品、集合住宅2作品の4作品が第1次選考を通過しました。いずれも地域社会や周辺環境との関係性、社会的資源である木材の活用等を主題としており、本賞に相応しいものでした。「大賞」を受賞した「平和の家」は、制約の多い既存住宅地の中で、住まいの「居方」や「佇まい方」への解答のひとつとして、多くの選考委員の共感を獲得しました。優秀賞の「里山ながや・星野川」は、都市ではない場所に地域社会を築くあるいは取り戻す建築づくりの実践が高く評価されました。「WIL-BU山王」、「森と空へ」も受賞とはなりませんでしたが、それぞれが主題とした選考の視点において評価されました。

「一般建築の部」では、オフィス、複合型ホール、葬祭場、観光拠点施設、宿泊施設の5作品が第1次選考を通過しました。今年度は極めて質の高い建築作品が残り、選考は難航しました。大賞の「福岡県弁護士会館」は、機能性・意匠性を併せ持ち、空間的な実践を通して開かれた新しい弁護士のあるかたを社会に問うという試みが評価されました。優秀賞の「五ヶ山クロスベース」は、自然と巨大人工物であるダム堤体との境界を溶かし、この場所ではできないランドスケープを創り出したことが評価されました。「メモリードホール春日」、「秋月野鳥 project」、「久留米シティプラザ」も高く評価されましたが、僅差で及びませんでした。

「理事長賞」には、近代産業遺産のリノベーション、国重要文化財駅舎の改修、集合住宅コンバージョンが最終選考に残りました。こちらも例年以上の力作が揃いました。11月6日の現地審査を経て、今年度は、「SHINGO-D OFFICE RELOCATION PROJECT」と「montan HAKATA」の2作品(例年は1作品)が受賞することになりました。

なお、本賞は福岡県が主催し、単に視覚的に目立つとか話題性を表彰するということではなく、社会的かつ文化的に優れた建築を表彰することにより、建築文化を高めることが趣旨となっています。また、「美しいまちづくり建築賞」という名称が示すとおり、建築単体ではなく地域の価値向上に貢献することが評価の条件です。今後も、この制度が良質な建築ストックの醸成に繋がっていくことを期待いたします。

## 目次

ご挨拶	00
総評	01
大賞	02-05
優秀賞	06-07
一財：福岡県建築住宅センター理事長賞	08-09
最終選考対象作品	10
これまでの大賞受賞作品	11-13



# 大賞

## 住宅の部 ■ 平和の家

**設計趣旨** 福岡市中心の標高100mほどの鴻巣山風致地区に位置する。旗竿状の敷地には、視界と風の抜ける静かな環境があり、東側からは四王寺山に日の出を拝める変わらない景色が一望できる。この住宅では敷地に対して建築面積を必要最低限に抑え、東側に庭を設けることにした。住宅はいうまでもなく建主のための私的なものだが、外部に面する庭は地域との共有資産でもある。室内に寄り添う東側の庭と路地のようなアプローチにも緑を多く取り入れ、幹が太り葉が生い茂る頃には、通り行く人にとっても心地のよい建築となることを願っている。また、身体が触れる素材を特に吟味し密度の高い仕上げを施すことで、新たな質の建築を目指した。

**講評** 控えめなリリシズムを感じる秀逸な住宅作品です。

風致地区・旗竿敷地・ひな段・狭小地等の多くの制約と厳しい条件をものともせず、むしろ敷地が有する価値を発見し周囲に還元しています。隣家の壁、窓、塀、プール、植栽などの風景を、これから変わりゆく雑木林のように見立て、この住宅があたかも1本の挿し木となり清々しい木立に生まれ変わって行くような感覚が呼び起こされます。

住宅を構成する基本的な骨格は、素材の物性を活かした部材とそのスケール、プロポーションにより緊密なバランスで組み立てられています。ジェネリックさを微塵も感じないプリコラーージュ的建築が、熟練の設計手腕から生み出されました。

たった1軒の小さな住宅であっても、このような奥性と拡がりを持つ住宅が立ち上がることで、同じように周辺に点在する敷地での建築の可能性が認識され、まわりの土地の価値を引き上げることに繋がっていくであろうことを示しています。



**所在地** 福岡市南区  
**建築主** 個人  
**設計者** TORU SHIMOKAWA architects 下川徹  
〒830-0049 福岡県久留米市大石町441-5  
TEL.0942-35-9858  
www.torushimokawa.com  
**施工者** 株式会社原口建設 代表取締役 原口義彦  
**用途** 一戸建ての住宅  
**構造規模** 木造 地上2階建て

撮影：鈴木研一



# 大賞

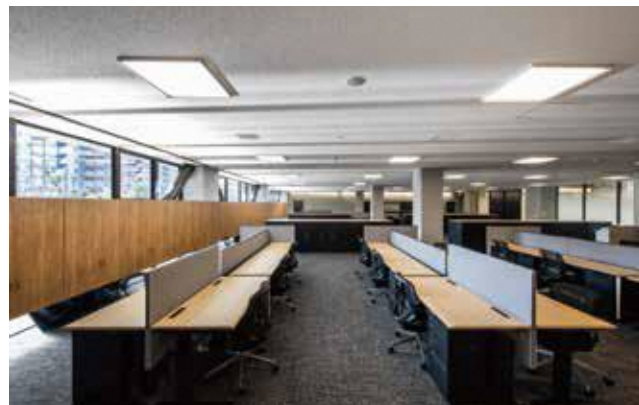
## 一般建築の部 ■ 福岡県弁護士会館

**設計趣旨** 「社会に開かれた弁護士会館を実現したい」その弁護士の志高き想いを市民に開いていくことが、このプロジェクトの一貫した姿勢であった。守秘義務の多い弁護士の仕事を開いていくためには、開くと同時に片方で閉じる場所が重要である。建物の中心より奥側のスペースは閉じて、前面側には市民集会などが行われる「大ホール」と「エントランス」を配置し、開かれた会館を象徴するよう計画した。

多くの職人やデザイナーのアイデアを持ち寄りできた空間は、強さと優しさが共存し、多様な解釈を生んでいる。その多様さが、会員や市民それぞれの愛着に繋がり、弁護士が抱く志高き想いが少しずつ市民に開かれていくことを願っている。

**講評** 開かれた新しい弁護士のありかたを、空間的实践を通して社会に問うています。九州大学六本松キャンパス跡地には、裁判所(高裁・地裁など)・検察庁・弁護士会館の法曹三者が集まり、観念的な三権分立が空間化する場となっています。弁護士会館には「管理主義」や「閉じた箱」を超えて、より社会に近接するために、気持ちの良い掘りを持つエントランスホール、市民向け講座が驚くほど多数開催される大ホールなどが設けられています。また、地元企業や職人集団との協働による、博多織献上柄をモチーフにした複層研磨ステンレス、砂漆喰による左官仕上げなど、内外装の繊細でいいなつくりこみが、やわらかな表情・空間を創出しています。

一方で、高度専門職である弁護士の活動を支えるワークプレイスやコミュニケーションスペースが充実する、これからの働き方の変化を見据えたクリエイティブオフィスとなっています。いわゆるノー・マンズ・ランドの開かれたデザインが魅力的な都市空間や地域空間を生み出すこと、そして建築は社会活動を定位する力を備えていることを、見事に表現しています。



**所在地** 福岡市中央区  
**建築主** 福岡県弁護士会 会長 山口雅司  
**設計者** 古森弘一建築設計事務所 古森弘一 橋迫弘平  
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2-6-16-3F  
TEL.093-967-0123  
<http://furumori.net>  
**施工者** 株式会社奥村組 九州支店 執行役員支店長 大角透  
**用途** 事務所  
**構造規模** S造 地上4階建て

撮影：OMORI KYOKO  
※のみ撮影：小野義明



# 優秀賞

## 住宅の部 ■ 里山ながや・星野川

**設計趣旨** 都会からの移住者が、後継者不足に悩む里山で初めから家を確保し生活を始めるのは難しく、このことが都市と農村の交流の障壁になっている。これに対し、移住の機会を増やすために企画されたのが「里山ながや・星野川」であり、その事業スキームは公民連携の形をとっている。建設には、八女杉を加工し、施工は地元工務店と大工塾で伝統技術を学んだ若手大工が携わった。

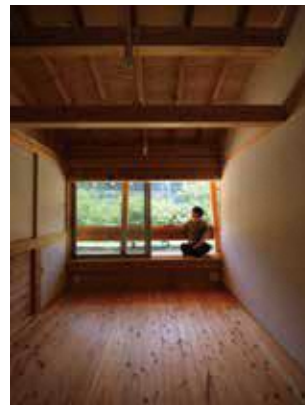
板倉構法からなる2間×3.5間、2階建ての8戸からなる長屋各戸には、玄関、その前に野菜などを育てられる庭、洗濯物だけでなく果物や野菜を干すことができる深い庇、家の中を風が通り抜ける二方向の窓、ひだまりの窓辺など、里山の自然を楽しむ道具立てが用意されている。

**講評** 都市ではない場所で、地域社会を築くあるいは取り戻す建築づくりの実践が高く評価されました。

農村地域への移住促進を謳う支援制度は数多くありますが、移住希望者にとって手軽に賃貸できる住宅は少なく、多くは初期段階で断念します。廃校跡地を借り受け、民間企業が建設・運営し、自治体が家賃の補助を行うというそれぞれのリスクを最小化した公民連携スキームによる「里山ながや・星野川」では、そういったしばらく試しに住んでみたいという移住希望者を受け入れています。農家は個人ではない歴史を持った複合的な家族であり、「長屋」という形式が連関する農村地域への入門バージョンとして合致します。

地域産杉材による厚板、伝統継手仕口で構成される骨太な民家型構法である現代版板倉を用い、その技術的難点もクリアしながら地元工務店と若手大工がつくりあげ、里山に還るような木の香りに包まれた清々しい「長屋」となりました。

森林資源と地域の力によるこの「長屋」からは、里山を舞台とする暮らしの新たな始まりがあることが実感できるとともに、地域社会を取り戻し、里山を考える多様な物語が生まれそうです。



撮影：© Atelier Bow-Wow

**所在地** 八女市上陽町  
**建築主** 八女里山賃貸株式会社 代表取締役 長谷川繁  
**設計者** 有限会社アトリエ・ワン 塚本由晴 貝島桃代 玉井洋一  
 〒160-0018 東京都新宿区須賀町8-79  
 TEL.03-3226-5336  
<http://www.bow-wow.jp/index.html>  
**施工者** 友建設 今村俊佑  
**用途** 長屋  
**構造規模** 木造 地上2階建て

# 優秀賞

## 一般建築の部 ■ 五ヶ山クロス ベース

**設計趣旨** 2018年に竣工した福岡県内最大の五ヶ山ダム周辺の整備事業の一環として、福岡県那珂川市が整備した観光拠点施設(ショップ・カフェレストラン・展望デッキ)である。山並みやスケールの大きなダムの景観と調和するデザインとなるよう、ダムの堤体と呼応する大らかな曲面の造形としている。天然木デッキによるルーフトラスを設け、人びとが休憩できるベンチのような緩やかな大階段とスロープにより、ランドスケープと建築が連続した一体感ある風景を創出した。ルーフトラスには那珂川産材ヒノキを水蒸気式高温熱処理したルーバーを設け、五ヶ山エリアの新しいシンボルとなるよう、山並みに呼応した形状のランドフォームアーキテクチャーを目指した。

**講評** インフラストラクチャ、ランドスケープ、建築の空間が有機的に一体化された、新たな「地形」とも呼べる空間が創出されました。

重力式コンクリートダムを構築する圧倒的なコンクリート量塊、フラットで長大な堤頂部ラインなどが与える巨大スケール感や無機的な印象が、通常のダムサイトの集約的な記憶となっています。しかしながらここでは、細長く引き延ばされ曲げられた動線空間・滞留空間がそれぞれの境界線を滲ませ、深いパースペクティブと無限の感覚を与えています。建築の内部から外部に至る距離・勾配・天井高など一連の断面構成も巧みに設えられ、視線の運動だけが残ります。

建築をインフラに結びつけ、そしてインフラをランドスケープに結びつける、新たなサステイナブルな手法を創り出しています。この場所は、観光プロモーションやアウトドア活動等のソフトシステムを通して、五ヶ山の歴史を後世に伝えていくことにも繋がっていくでしょう。



撮影：©Seinosuke Kaneda



撮影：©TakeshiYAMAGISHI



撮影：© TakeshiYAMAGISHI



撮影：© Yosuke Harigane



撮影：©Yosuke Harigane

**所在地** 那珂川市  
**建築主** 那珂川市長 武末茂喜  
**設計者** 株式会社 yHa architects 平瀬祐子 平瀬有人  
 〒812-0039 福岡市博多区冷泉町8-18-3B-3F  
 TEL.050-3478-5444  
<http://yha.jp>  
**施工者** 株式会社小柳技建 代表取締役 富澤善和  
**用途** 店舗・飲食店  
**構造規模** RC造一部S造 地上1階建て



一般財団法人  
福岡県建築住宅センター理事長賞  
選考テーマ：既存建築物のリフォーム・リノベーション  
SHINGO-D OFFICE RELOCATION PROJECT

**設計趣旨** 1909年築、煉瓦造の変電所を信号機メーカーの本社オフィスとしてコンバージョン。広い内部空間やアーチ窓など印象的特徴を残しながらもオフィス兼ショールームとしての機能を加え新旧の対比を引き立てた。2棟並列の配置を生かし、1棟に執務スペースもう1棟に来客及びカフェスペースを計画し、それぞれの空間の素材やカラーを使い分けることで緊張と緩和、ONとOFFの切り替えを図った。またフリーアドレスの採用等により社内間は元より来訪者との交流が活性化する空間を目指した。ショールームには信号灯器ディスプレイ以外に「一般道路」にある要素(例：横断歩道)も取り込み、ブランドアイデンティティ発信の空間とした。

**講評** かつて工業都市として栄えた都市であれば、「重工業の衰退と脱工業化産業の興隆」の中で、過去の産業遺産の存続に直面します。

登録文化財である旧三池炭鉱専用鉄道専用変電所が、骨格は残しながら内部は柔軟にデザインされ蘇りました。このような積極的なアダプティブ・リユース(適応型再活用)は、環境配慮・歴史的建築物の保存意識・都市再生への機運・地域的文化的アイデンティティの醸成などに繋がっていくでしょう。

機能性や合理性あるいは経済性といった理由のみで解体されようとする歴史的公共建築が議論される現在、大変な手間を要する作業が一民間企業の自助努力によってなされたことに、深い敬意を表します。



撮影：河野 政人 ナカサアンドパートナーズ

**所在地** 大牟田市  
**建築主** 信号電材株式会社 代表取締役社長 系永康平  
**設計者** PLAINS 系永昇平  
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里2-19-7-201  
TEL.080-4183-8254  
<https://plains-d.net/>  
**施工者** 株式会社Vario 代表取締役 上妻啓朗  
株式会社日新建設工業所 代表取締役社長 泉豊博  
**用途** 事務所  
**構造規模** 煉瓦造一部鉄骨造 地上1階建て

一般財団法人  
福岡県建築住宅センター理事長賞  
選考テーマ：既存建築物のリフォーム・リノベーション  
montan HAKATA

**設計趣旨** 昭和62年に竣工した地上9階建ての集合住宅をホテルと住居が混在する複合用途へと再生をしている。中庭にEVを増築し、駐車場であった1階をロビーラウンジ空間へ、そして2、3階にはツイン・ダブルなどの客室とドミトリー客室を配置している。4~9階には、同様にツイン・ダブルなどの客室とワンルームの賃貸住居が混在している。なお既存建物は確認済証はあったものの検査済証が存在せず、今回の計画によって、新たに建物すべてに対する確認済証と検査済証を取得し、遵法性を確保している。当初、約半分の住居のホテル化を行ったが、今後も空き部屋が生じた場合、全体の7割程度までホテル化することを見込んでいる。

**講評** 人々の暮らしを豊かにする可能性を備えている点こそ建築の面白さがあります。本プロジェクトでは、現代的な需要と活力が与えられ、古びた集合住宅が生き生きとした空間として蘇りました。周到かつ綿密な準備・検討・設計作業ではあるが、ほんの僅かな作用により、過去(集合住宅)と現在(ホテル)とが同時に存在し一体化することに繋がりました。

多様な年代・国籍の人々が集う新しいロビーラウンジを見ると、今後さらに都市を活気づけ、人々の愛着を勝ち得ていくであろうことが予感されます。



撮影：イクマサトシ(TechStaff)

**所在地** 福岡市博多区  
**建築主** 株式会社インテリックス 代表取締役社長 山本卓也  
**設計者** DABURA.i株式会社 代表取締役 池浦順一郎  
〒810-0022 福岡市中央区薬院3-7-16-402  
TEL.092-775-0887  
<http://www.dabura-i.com>  
**施工者** 株式会社サンコービルド 代表取締役社長 松川伸太郎  
クレープランニング株式会社 代表取締役社長 中田泰平  
**用途** ホテル・共同住宅・事務所  
**構造規模** SRC造一部S造 地上9階建て



## 最終選考対象作品

### 住宅の部 ■ WIL-BU山王

所在地 福岡市博多区  
 建築主 有限会社キューベックス 代表取締役 藤嶋正美  
 設計者 株式会社智原聖治アトリエ級建築士事務所  
 代表取締役 智原聖治  
 〒812-0033 福岡市博多区大博町9-5-2階  
 施工者 有澤建設株式会社 代表取締役 木下英資



撮影:イクマサトシ(Techni Staff)



### 住宅の部 ■ 森と空へ

所在地 福岡市西区  
 建築主 個人  
 設計者 acaa 岸本和彦  
 〒231-0868 神奈川県横浜市中区石川町2丁目78-10-402  
 施工者 株式会社甲斐建設 代表取締役 甲斐睦生



撮影:上田宏



### 一般建築の部 ■ 秋月野鳥project

所在地 朝倉市  
 建築主 個人  
 設計者 フジワラテツペイアーキテクトツラボ 藤原徹平 岩井一也  
 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-6-14  
 第2神宮前ビルディング503  
 施工者 藤匠住宅 代表取締役 岩本結



撮影:©Nacása & Partners Inc. FUTA Morishi



### 一般建築の部 ■ 久留米シティプラザ

所在地 久留米市  
 建築主 久留米市長 大久保勉  
 設計者 香山・DEN・國武・北島・ナカヤマ特定設計業務共同企業体  
 代表者 有限会社香山壽夫建築研究所 代表取締役所長 香山壽夫  
 〒113-0033 東京都文京区本郷2-12-10  
 施工者 鹿島・金子・大和・小林特定建設工事共同企業体  
 代表者 鹿島建設株式会社九州支店 執行役員支店長 小森浩之  
 施工者 西松・半田・黒田・東建特定建設工事共同企業体  
 代表者 西松建設株式会社九州支社 執行役員支社長 吉田卓生



### 一般建築の部 ■ メモリードホール春日

所在地 春日市  
 建築主 株式会社メモリード 代表取締役社長 吉田昌敬  
 設計者 百枝優建築設計事務所 百枝優  
 〒810-0055 福岡市中央区黒門6-4エスポワール大濠公園102  
 施工者 三軌建設株式会社 代表取締役社長 松本喜代孝



撮影:Yashiro Photo Office



### 一財:福岡県建築住宅センター理事長賞最終選考作品 ■ 門司港駅

所在地 北九州市門司区  
 建築主 九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 青柳俊彦  
 設計者 公益財団法人文化財建造物保存技術協会 理事長 高塚至  
 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-32-15  
 施工者 九鉄工業株式会社 代表取締役社長 古賀徹志



撮影:九鉄工業株式会社



ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。  
 福岡県美しいまちづくり建築賞につきましては  
 福岡県庁ホームページからもご覧いただけます。

## これまでの 福岡県美しいまちづくり建築賞 [建築住宅文化賞] 大賞受賞作品

### 1回-12回

第1回福岡県建築住宅文化賞  
 昭和63年度  
 北九州市立美術館



1

第2回福岡県建築住宅文化賞  
 平成元年度  
 石橋別邸第一水明荘  
 福岡医院  
 花園幼稚園  
 ビレッジ香月



2



3



4

第3回福岡県建築住宅文化賞  
 平成2年度  
 松口邸  
 的野歯科医院  
 立花山の家  
 グリーンピア八女



5



6



7



8

第4回福岡県建築住宅文化賞  
 平成3年度  
 進藤邸  
 不知火病院"海の病棟"  
 山田市立山田小学校  
 福岡ウォーターフロント  
 プロムナード"マリゾン"



9



10



11



12

第5回福岡県建築住宅文化賞  
 平成4年度  
 刈田町立図書館  
 明治学園高等学校体育館  
 カルタックスおおむた



13



14



15

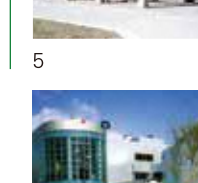


16

第6回福岡県建築住宅文化賞  
 平成5年度  
 田川文化エリア  
 福岡県青少年科学館  
 佐田邸(4世代の家)



17



18



19



20

第7回福岡県建築住宅文化賞  
 平成6年度  
 茶の文化館  
 二丈町の家  
 山笠の家(橋本部)  
 西大谷第2団地(市営住宅)



21



22



23

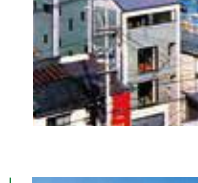


24

第8回福岡県建築住宅文化賞  
 平成7年度  
 縄田邸  
 上賜町立尾久保小学校



25



26



27



28

第9回福岡県建築住宅文化賞  
 平成8年度  
 碓井琴平文化館  
 新宮湊坂



29



30



31



32

第10回福岡県建築住宅文化賞  
 平成9年度  
 鞍手の家  
 太宰府長浦台の家



33



34

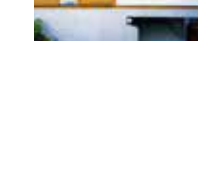


35



36

第11回福岡県建築住宅文化賞  
 平成10年度  
 瀬高町立図書館・歴史資料館  
 山村留学ふれあい館(筑穂学舎)



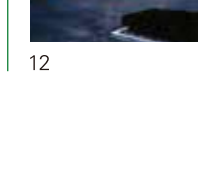
37



38



39



40

第12回福岡県建築住宅文化賞  
 平成11年度  
 山田市立下山田小学校



41



42



43



44



これまでの  
福岡県美しいまちづくり建築賞  
[美しいまちづくり賞、美しいまちづくり建築賞] 大賞受賞作品

第13回福岡県美しいまちづくり賞  
平成12年度  
めくばーる三輪  
青葉台ほんえるふ

第14回福岡県美しいまちづくり賞  
平成13年度  
大野城の住宅  
ひふ科いのらくクリニック  
八女市多世代交流館「共生の森」

第15回福岡県美しいまちづくり賞  
平成14年度  
City Cube  
篠栗幼稚園

第16回福岡県美しいまちづくり賞  
平成15年度  
SHIMA STYLE  
渡辺クリニック姪浜  
247

第17回福岡県美しいまちづくり賞  
平成16年度  
カルシア小戸ナチュア

第18回福岡県美しいまちづくり賞  
平成17年度  
昭和初期和風住宅の移築プロジェクト  
西南学院中学校・高等学校  
伊田堅抗櫓二本煙突(景観賞)

第19回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成18年度  
TERZETTO(テルツェット)  
中村製紙所新社屋

第20回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成19年度  
須崎の長屋

第21回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成20年度  
東神原の家  
アクア博多

第22回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成21年度  
ベットと暮らし家[K邸減築工事]  
天神MENTビル

第23回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成22年度  
豊前の家  
下川歯科医院

第24回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成23年度  
むさしヶ丘の住宅  
薬上町火葬場

第25回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成24年度  
四季の家  
料亭 嵯峨野

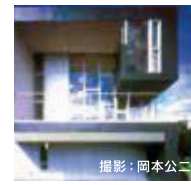
第26回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成25年度  
Obi house  
筑紫保育園 分園

第27回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成26年度  
大池の住宅  
椎木講堂

13回-27回



13



14



15



15



16



16



17



17



18



18



19



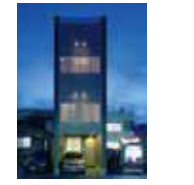
19



19



19



20



21



22



22



23



24



24



24



25



25



26



26



27



27



27



27

これまでの  
福岡県美しいまちづくり建築賞  
[美しいまちづくり建築賞] 大賞受賞作品

第28回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成27年度  
松原の家  
BOATHOUSE OHORI PARK

第29回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成28年度  
太宰府の家  
SHIP'S GARDEN

第30回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成29年度  
糸島の家[MPラボ]  
西南学院大学図書館

第31回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成30年度  
小屋の間  
すばる保育園

28回-31回



28



29



30



31



28



29



30



31

一般財団法人福岡県建築住宅センター

建築住宅センターの住まいづくりサポート

●住宅相談

専門相談員によるアドバイスのほか弁護士による法律相談

●住まいづくり教室

一般消費者を対象とした住まいに関するセミナー開催

●住まいの安心リフォームアドバイザー派遣制度

耐震診断・バリアフリーに関するアドバイザーの派遣

●生涯あんしん住宅

在宅ケア・省エネ・耐震等対応モデル住宅の展示

●インスペクション(「住まいの健康診断」)

住まいの専門家による既存住宅状況調査の実施

●お問い合わせ先

TEL 092 781 5169

[www.fkjc.or.jp/](http://www.fkjc.or.jp/)

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、  
福岡県美しいまちづくり建築賞を応援しています。

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、県民の高度化・多様化する住まいづくりに応えるため、建築・住宅行政の補完的役割を果たす機関として昭和53年に設立されました。

また、当財団は、平成24年4月の公益法人制度改革に伴い、一般財団法人へ移行し新たにスタートいたしました。今後も社会経済情勢の変化に対応しながら、県民のニーズに応じてまいります。

住宅に関する知識の普及、住宅相談、セミナー、住宅瑕疵担保履行法に基づく保険取扱機関としての業務等を通じて消費者の保護を図るとともに、モデル住宅の展示、住宅情報プラザの運営や住宅フェアの開催等を通じて、的確な住情報の提供を行っています。また、工務店等の技術者に対する研修会の開催、建築技術に関する調査研究等を行い、併せて建築物等の安全性(定期報告)に関する業務、並びに福岡県の指定を受けて、指定確認検査機関及び指定構造計算適合性判定機関として、建築確認・検査、構造計算適合性判定業務及び、国の登録住宅性能評価機関としての諸業務を実施しています。



# 2019 32nd.

# 2019

## 第32回 福岡県 美しいまちづくり 建築賞

### 表彰の趣旨

今回で32回を迎える福岡県美しいまちづくり建築賞は福岡県内の地域の自然、風景、歴史、文化、生活、活動等を背景とした景観の形成に寄与するとともに、建築計画において優れた建築物に対して、大賞、優秀賞等を授与するものです。

### 応募部門

- 住宅の部
  - ・一戸建ての専用住宅。
  - ただし、併用住宅で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。
- 長屋建住宅及び共同住宅等の集合住宅、街区を形成する住宅群。
  - ただし、複合用途で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。
- 一般建築の部
  - ・原則として住宅の部以外の建築物を対象とします。

※概ね10年前以降に竣工[増改築・修繕等含む]したものであれば、過去に応募したものでも再度の応募は可能です。

[福岡県美しいまちづくり建築賞で受賞したものは除きます]

### 選考委員会 50音順 敬称略 ◎委員長 ○副委員長

池田美奈子 / 九州大学大学院芸術工学研究院准教授  
石塚康弘 / 福岡県建築都市部次長  
岩田直仁 / 西日本新聞社論説委員  
大森今日子 / 写真家  
岡田知子 / 西日本工業大学デザイン学部建築学科教授○  
菊竹清文 / 情報彫刻家  
黒瀬武史 / 九州大学大学院人間環境学研究院准教授  
末廣宣子 / 有限会社エヌ・ケイ・エス・アーキテクト取締役  
田上健一 / 九州大学大学院芸術工学研究院教授◎  
松本悟 / 一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長

### 主催 / 福岡県

協賛 / 一財：福岡県建築住宅センター  
後援 / 独法：住宅金融支援機構九州支店  
独法：都市再生機構九州支社  
福岡県住宅供給公社  
公社：福岡県建築士会  
一社：福岡県建築士事務所協会  
一社：福岡県建設業協会  
公社：福岡県宅地建物取引業協会  
一社：九州住宅産業協会  
公社：日本建築家協会九州支部  
一社：日本建築学会九州支部  
公社：日本都市計画学会九州支部  
特非：日本都市計画家協会福岡支部  
福岡県ゆとりある住まいづくり協議会